

こうぼうだよ ひのき工房便り

VOL. 187

2025.01.01

しんねん
新年おめでとうございます

しゃかいふくしほうじん ふき かい
社会福祉法人 路の会
りじちょう せき ゆうこ
理事長 関 裕子

さくねん がんたん おおじしん おそ ごうう しぜんさいがい かくち あいつ きろくてき もうしょ おそ
去年は、元旦に大地震に襲われ、豪雨による自然災害も各地で相次ぎ、記録的な猛暑にも襲われま
した。また、ガソリン、食料品等物価高騰が長引き、暮らしに不安を感じた方も多かったのではな
いでしょうか。

そのような中ですが、4月に法人内6番目の事業所となる新施設オリーブを開設しました。下恩方町
のオリーブ敷地入口に設置した野菜の露店販売は近隣住民の方々に好評で、町内清掃や町会夏祭
りにも参加させていただき地域の皆様と交流も多く、路の会が目指している“地域の方々に喜ばれ、
地域に根差した施設づくり”を順調に進めています。

ふきのとうは、昨年、利用者さんが1名入所し、八王子西特別支援学校から実習生2名を受入れ、
4月から通所予定です。また、長い期間通所している利用者さんが多く、加齢や身体の変化に伴い、
以前までできていた動作が少しずつ難しくなっています。その課題に対応するために職員研修
等スキルアップを図り、利用者さんの意見や想いを傾聴し変化に対応した丁寧な支援を実施していま
す。

ぽぶら八王子は、昨年、新人メンバー2名が加わり、1日生産目標41,600個、良品効率目標99%
を目指し、工夫や対策を取りながら、メンバー職員共に力を合わせて取組んでいるところです。一
昨年再開したフロアホッケーは、毎月1回の練習を続け、1月18日(土)に開催される東京都フロ
アホッケー交流競技大会に参加します。

ころぼっくるは、1学期には気持ちが不安定だった児童も夏休みを経て、2学期に入ると情緒面も
安定し、子ども達自身で生活の見通しをもって行動できる場面が増えてきました。

とぶきふねんは、八王子市、メタウォーター株式会社との報連相を密に行い選別等作業品質の向上
に努めています。昨年、フォークリフトを1台新車に入換え、八王子市のご厚意によりエアコンの入替
等作業環境改善が進みました。

ひのき工房は、リサイクル部門の新施設移行に伴い、職員5名を増員し新体制でスタートしました。
施設運営ではオリーブと協力し合い、ドライバーが不足していた送迎では、約5か月間オリーブから
ドライバーを派遣してもらい、反対にオリーブの事務では、ひのき工房が協力しました。また、ひ
のき工房祭りでは、他の4事業所からも応援をいただき、多くの職員と利用者さんが参加して交流の
機会を持ち、皆さんの笑顔を見ることができました。

路の会の理念を共有する施設間の交流を通して、人と人が繋がり協力し合い、助け合える職員
に育ってほしいと期待しています。今年は、路の会の6事業所の職員・利用者・ご家族の皆さん
が交流し合う機会を後援会と共に計画しています。皆様、ぜひご参加ください。

新しい年も利用者・メンバーの皆さんが意欲的に働き、より充実した楽しい生活ができるよう、
職員の皆さん、協力し合って頑張りましょう。



2025年の抱負



2024年は皆さんにとってどんな1年だったでしょうか？今年もひのき工房で楽しく元気に過ごしましょう！利用者の皆さんの今年の感想と今年の抱負を一部ですがお届けします☆

藤森さん：1日も休まず健康にひのき工房に通いたい。

田場さん：2024年と変わらず過す。仕事を頑張る。

西川さん：印象に残っていることはひのき工房祭りかな。

2025年はみんなでまた旅行に行きたい！

大場さん：自分の体のことを大事に考えて、いつも通り過します！

矢田さん：昨年は大型注文よく頑張りました！

今年もたくさん注文いただけるといいな。

豊栄さん：今年も絵付け頑張ります。

小嶋さん：今年は去年よりもっと難しいものを磨けるように頑張る。

あとはイベントにも積極的に出るようにしたいです。



2024年最後のイベント 出店 です！

12月7日（土）陵南公園にて「ここからスマイルフェス」が開催されました。今回は低気温のせいか 来場される方が少なかったのですが、来てくださったお客様には必ず手に取っていただけて、嬉しい声も届いています。



〔売り上げ〕

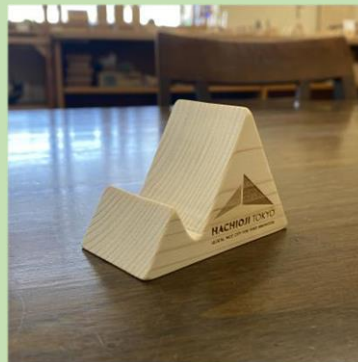
木工	26,280円
お菓子	5,470円
合計	31,750円



2024年もたくさんのイベントに出店しました。
2025年もひのき工房の商品を多くの人に届けられるように、一緒に頑張っていきましょう！☆

木工部のお仕事 紹介 です！

八王子観光コンベンション協会様よりスマホスタンド2000個の注文をいただきました。今回の大量注文に利用者さんからは「やります！」と前向きな声が上がりました。3月の納品に向けて日々力を合わせて磨きに取り組んでいます！



1月19日（日）のふれあいコンサートに向けた磨き作業も進めています！



1月1日に能登半島を襲った地震災害に引き続き、9月21日には、能登半島を豪雨災害が襲い、多くの家屋が再度の被害を受け、国の支援が届かない中でまた、高校生を含めた尊い命が奪われ、心折れる住民の声に、心痛むばかりです。路の会では、きょうされんを通じて、再度、災害に見舞われたかたへの災害支援を行いますので、皆様の暖かいご支援をお願い致します。

社会福祉法人路の会
理事長 関 裕子

きょうされんの掲示より

【能登半島地震】

多くのご支援ありがとうございます

「能登半島地震」を受けて、きょうされんは支援のための募金を呼びかけています。

全国各地の事業所、法人、家族会（保護者会）、利用者の会、後援会などから被災地に心を寄せる多くの支援金が届いており、2024年4月末までに480カ所以上から2950万円を超える寄付をいただいております。誠にありがとうございます。

石川県能登地方の大雨の状況をお知らせします。（9月22日時点）

あわせて、災害対策基金・能登支援スタッフ派遣にご協力をお願いします。

【能登地域の大雨の状況について（9月23日）】

■能登災害支援スタッフマネージャーからの情報

・22日 日曜日 午後からはJDF支援センターのある七尾の雨はあがる。

・輪島方面の被災状況を視察。

・9月23日からの第19クールについては、

豪雨の影響も含め状況をみつつ、予定通り支援活動をおこなう予定。

七尾から穴水を通して下道で輪島まで移動。途中、峠道は生々しい崖崩れの跡がありましたが、片側一方通行にして、急ピッチで復旧工事。道路の方は何とか通れるようにしてくださっていたので、いつもと変わらない時間で、輪島の事業所Cに到着。

今週活動予定の町野町の仮設住宅をめざしたが、海沿いの道は冠水とがけ崩れがひどく、途中から通行止めで断念。

輪島市街に戻り、テレビでも映っていた川の横の市役所庁舎を通して、事業所Dに向かいましたが、市役所や隣の土木事務所の駐車場は、大量の泥が生々しく残っていて、車も数台埋もれたままでした。

重機で川にかきだしていましたが、事業所は高台なので、特に影響ないように見えました。

その後、穴水まで戻って輪島市門前町の道下仮設にお住いのかたを訪問。

志賀町を通して七尾のセンターに戻りましたが、こちらも土砂崩れの跡がありました。片側一方通行にして、急ピッチの復旧工事をしていたので、無事通ることができました。

■この間、関係団体を含め集めた能登地域の事業所の状況は以下の通り（9月21日時点）

○輪島市（門前町）

・事業所A 浦上の仮設住宅が浸水し、利用者の家族（副理事長）と川沿いに住む職員の自宅も浸水。輪島から職員の人も危ないのではと危惧。

施設は（見に行けてないけれど）大丈夫ではないかとのこと。

・事業所B 被害なし。門前はところどころ被害あるが、あぎし地区は大丈夫。

○輪島市

・事業所C 職員二人のうち一人には連絡とれたとのこと。

・事業所D 施設の職員と利用者は全員無事だが、断水になると市役所から連絡あり、断水対策をする。利用者さんも職員も施設にいる。

○珠洲市

・事業所E 浸水している珠洲市役所の近くだったが、施設は大丈夫とのこと。市役所周辺の浸水も収まってきている模様。

・事業所F GHは大丈夫。利用者が外出しており帰宅できなくなったため避難所に避難。GHの職員宅で床上浸水（地震の影響は一部損壊）。